

## 「日本の道と街並みを考える会」について

### 設立趣旨

道路は、ネットワークを形成し、地域、都市を印象づける重要な景観要素となっている。道路の景観は、道路を構成している構造物のみならず、その周辺の土地利用、沿道建物、さらには、そこを利用している自動車、歩行者などによっても形成されている。今後、21世紀に美しい日本の景観を形成していくためには、それらを含め道路空間を景観に優れたものとしていく必要がある。

このため、有識者からなる懇談会を開催し、道路とそれを取り巻く街並みの景観について、色彩やデザイン、景観を阻害している要因などを中心にそのあり方を検討し、日本の道と街並みを美しくするための基本理念について提言をいただく。

### メンバー等

座長 中村 良夫 東京工業大学名誉教授  
井口 典夫 青山学院大学経営学部教授  
尾登 誠一 東京芸術大学美術学部教授  
木村 徹 (社)自動車技術会デザイン研究会委員長  
コシノジュンコ ファッションデザイナー  
松岡 正剛 編集工学研究所所長

(メンバー：五十音順)

オブザーバー 国土交通省道路局長  
" 道路局次長  
東京都技監

### 活動内容

#### (1) 懇談会の開催

第一回目：7月29日(火)開催

第二回目：10月上旬開催予定

第三回目：1月開催予定

#### (2) 子供たちに残したい&残したくない道の景観の募集

(8月1日~9月15日)

#### (3) シンポジウムの開催(11月開催予定)

(\*) 懇談会と並行して、「青山通り及びその周辺」をモデル地区に具体的な検討を行い、試行